

ジョージア政治・経済 主な出来事

【2016年3月28日～2016年4月3日】

〔当地報道をもとに作成〕

平成28年4月5日

在ジョージア大使館

1. アブハジア・南オセチア

【アブハジア】

▼「入国規則」の変更(4月1日)

・外国人の「出入国」に関する新しい規則を施行。4月1日より、「アブハジア共和国」を承認しているロシア、ニカラグア、ベネズエラ、ナウルの国民のみが無査証でアブハジアに入ることができる。

【アブハジア】

▼「南オセチア共和国代表部」に関するイタリア外務省の声明(4月2日)

・ローマでの「南オセチア共和国代表部」の開設に関連して、イタリア外務省は、「イタリアはEU諸国および国連加盟国の大多数と同様に南オセチアの独立・主権を認めていない」との声明を発表。

2. 外 政

▼外相がハンガリーを訪問(29日)

・ジャネリゼ外相がハンガリーを訪問。ハンガリーのコヴェル国会議長、シェミアン副首相、シーヤールト外務貿易相らと会談。

・「シ」ハンガリー外務貿易相との会談では、ハンガリー側のイニシアチブにより、ジョージアとハンガリーの企業の共同プロジェクトの実施を促進するため、ハンガリー輸出入銀行が6800万米ドルの与信枠を設定することが明らかにされた。「シ」ハンガリー外務貿易相はジョージアのEU・NATO加盟に対する支持を再確認した。

・会談後の記者会見で「シ」ハンガリー外務貿易相は、「欧州の安全保障は重大な危機に直面しているが、これによりNATOやEUの拡大に関する懸念が引き起こされることはない。これらの危機に対する最悪の反応は閉じこもり、孤立することである。逆に、今は新しいパートナー関係や連携に前向きになり、NATO・EUの両方について、実際に拡大が進んでいることを確認する時であり、加入する準備ができた国々は加入を認められるべきである」「ハンガリーはジョージアのNATO・EU加盟を常に支持してきた。これはジョージアの利益のみならず、NATO・EUの利益にも適う」と述べた。

▼内相がフランス・ドイツを訪問(29日—4月6日)

・ムゲブリシヴィリ内相がフランスを訪問。ツルキアニ法相とともにフランスのカズヌーヴ内相と会談。不法滞在者や国際犯罪に対する協力などについて議論。

・「ム」内相は31日からドイツを訪問。バヴァリア州、

ラインハルト・プファルツ州、ニーダーザクセン州内相、ライン・ヴェストファリア州の各州の内相らと会談。

▼英外相がジョージアを訪問(30日)

・ハモンド英外相がジョージアを訪問。クヴィリカシヴィリ首相、ウスパンヴィリ国会議長らと会談。「ク」首相との会談では経済関係、ジョージアのNATO加盟、ワルシャワでのNATO首脳会議に向けた準備などについて議論。双方はジョージア・英国間の貿易額の増加を歓迎した。また、「ク」首相およびカラゼ・エネルギー相とともに、BPが実施している南コーカサスパイプラインの拡張工事現場を視察。

・「ハ」英外相は「ク」首相との記者会見で、ジョージアは地域の民主的な模範であり、特に10月の国会選挙が近づくなかでその評価が守られねばならないとして、自由かつ公正な選挙環境を保障する改革の継続を呼びかけた。

・記者会見で、ジョージアやバルト諸国にとってロシアが脅威であるかと質問され、「ロシアは国際的な規範を無視し、ルールに基づく国際システムに違反しており、これは我々全てにとって脅威である」「ロシアが国際社会において建設的な役割を演じることを望んでいる。ロシアは大きな影響力と力を持っており、我々はイスラム過激派のテロをはじめとする懸念を共有する多くの問題にも取り組まねばならないが、我々は国際的なルールを受け容れる国々とのみパートナーとして協力することができる」と発言。

▼外相のラトビア訪問(30日—31日)

・ジャネリゼ外相がラトビアを訪問。ラトビアのムルニエツェス国会議長、リンケヴィチ外相らと会談し、ラトビア・ジョージア・ビジネス・フォーラムに出席した。

・「リ」ラトビア外相との会談では、二国間協力やジョージアのEU・NATO加盟に向けた前進、ワルシャワでのNATO首脳会議、地域情勢、被占領地域の状況などについて議論。

▼大統領が核セキュリティ・サミットに出席(31日—4月1日)

・ワシントンで開かれた核セキュリティ・サミットにマルグヴェラシヴィリ大統領が出席。

・米国滞在中、「マ」大統領はトウスク欧州理事会議長、ポーランド大統領、ハンガリー首相、オランダ首相、ノルウェー首相らと会談。大西洋評議会およびジョージ・ワシントン大学で講演。

▼移民・内政担当欧州委員のジョージア訪問(4月2日)

・アヴラモプロス移民内政担当欧州委員がジョージアを

訪問。クヴィリカシヴィリ首相、ウスパシヴィリ国会議長、ジャネリゼ外相、ツルキアニ法相、タラクヴァゼ内務次官、イリア2世正教会総主教らと会談。「ク」首相との会談後、ジョージア国民の短期滞在に対するシェンゲン圏の査証撤廃に関する欧州委員会の提案について、「欧州連合理事会および欧州議会が今後数か月以内に提案を承認することを望む」と述べた。

▼トルコ軍艦がバトゥミに寄港(4月3日)

・トルコ海軍フリゲート艦 TCG Yavuz がバトゥミ港に寄港。2日間の停泊中、トルコ海軍とジョージア沿岸警備隊との共同訓練が行なわれた。

3. 内 政

▼自由民主主義者党党首の発言(28日)

・28日に共和党が近日中に2016年の国会選挙への参加に関する発表を行なうとの声明を出したことを受け、アラサニア自由民主主義者党党首はTV番組で記者の質問に対し、国会選挙で共和党と連合を組む可能性を否定。

▼内務次官の報告(29日)

・イゾリア国家保安庁次官が国会にて行なわれた国家保安庁の年次報告(2015年8月～2015年12月)をめぐる国防・安全保障委員会、人権委員会、法務委員会の合同公聴会に出席。「イ」国家保安庁次官は、ISILなどの過激派集団に参加するためシリアやイラクへ向かうジョージア国民の数は著しく減っていると強調。また、現在シリアおよびイラクで約50人のジョージア国民が過激派集団の戦闘に参加していると述べた。

・報告書は、ジョージアは「テロ攻撃のリスクは高くないが、ISILが一部地域で一定の支持者を得ている」と述べている。また、国家保安庁の主要な問題として被占領地域と同地域の外国軍の存在を挙げている。

▼共和党の声明と首相・国会議長の会談(31日)

・共和党は、2016年10月の国会選挙に(与党連合としてではなく)単独で参加するとの声明を発表。声明は、「決定は共和党が直ちに国会、政府、地区議会の与党連合会派から離脱することを意味しない」として、国会選挙まで与党連合政府に残るか否かは、共和党および首相の決定によると述べている。

・その後、クヴィリカシヴィリ首相と共和党所属のウスパシヴィリ国会議長が会談。会談後、「ク」首相は、与党連合「ジョージアの夢」に所属する政党は国会選挙に個別に参加すると述べた。また、内閣改造は考えておらず、共和党所属の閣僚はポストに留まると述べた。

・会談後、「ウ」国会議長は、共和党が直ちに与党連合を

離脱しないのは、国の安定や外交方針の発展性に対する懸念を生み出さないためであるとして、これまで共和党とジョージアの夢・民主ジョージア党はパートナー関係であったが、今後はパートナーであると同時に競争相手でもあると述べた。

▼保守党の声明(4月2日)

・保守党は、国の発展にとって最も重要なことは政治的・経済的な安定であるとして、与党連合に残るとの声明を発表。声明によれば、保守党は、2016年10月の国会選挙への参加の形態について協議を開始した。

▼ナゴルノ・カラバフ情勢に関して首相が会議を招集(4月3日)

・ナゴルノ・カラバフ情勢の悪化を受け、クヴィリカシヴィリ首相が外相、内務次官、国防相、国家保安庁長官、国会の外務委員会委員長、国防・安全保障委員会委員長らを招集して会議を開催した。「ク」首相は戦闘が再開され、一般市民を含む犠牲者が出ていることに懸念を表明。

4. 経 済

▼2016年2月の経済成長(30日)

・2016年2月の実質GDP成長率は前年同期比2.6%。2016年1月～2月の実質GDP成長率の平均は前年同期比1.7%。

▼2015年の人口動態(31日)

・2015年の出生数は59,249人(男30,902人、女28,347人)。死亡者数は49,121人。自然増加数は10,128人。
・婚姻件数29,157件、離婚件数9,112件。

▼2015年末時点の対外債務(31日)

・国立銀行によれば、2015年末時点の対外債務は150億米ドル(359億ラリ)。うち公的債務は60億米ドル(145億ラリ)。公的債務の内訳は、政府債務44億米ドル、国立銀行の債務2億1920万ドル、残りは国営企業の債務。

▼2016年1月～3月の入国者数(4月4日)

・内務省の発表した資料によれば、2016年1月～3月の入国者数は1,134,436人で前年同期比14.7%増。

・3月の入国者数は450,875人で前年同月比16.7%増。2月中の入国元別では多い順にアゼルバイジャン(131,523人、前年同月比19.0%増)、トルコ(102,723人、同6.7%増)、アルメニア(95,092人、同4.2%増)、ロシア(57,376人、同15.7%増)、イラン(14,272人、同4.9%減)、ウクライナ(11,366人、同26.9%増)。EU諸国からの入国者数は14,272人(同4.9%減)。